



# 学びの多様性って何だろう？

～不登校への新たな対応を考える～

2024年3月2日(土)13:00～15:00

場所：京都教育大学藤森キャンパス 共通講義棟大講義室2

対象：学校教員、教育委員会関係者、教員養成系大学・学部関係者、学生など

## プログラム

### ●話題提供●

各自治体や学校における取組について、現場で活躍する方々にお話しいただきます。

#### 話題提供者

北海道芽室町教育委員会教育推進課  
課長補佐・地域コーディネーター  
清末 有二

京都府福知山市教育委員会学校教育課  
課長補佐兼指導主事  
山田 隆久

京都府福知山市福祉保健部  
子ども政策室主任  
小原 恵

京都市立京都奏和高等学校長  
高崎 利明

### ●ディスカッション●

話題提供いただいた4名と、本学教員を交えてディスカッションを行います。

#### 本学登壇者

京都教育大学総合教育臨床センター教授  
総合教育臨床センター長  
相澤 雅文

京都教育大学教育学部教授  
学びサポート室長  
小谷 裕実

京都教育大学総合教育臨床センター講師  
榎原 久直

京都教育大学総合教育臨床センター講師  
鈴木 英太

令和5年3月に文部科学省は「COCOLOプラン」をとりまとめ、今日の学校教育において誰一人取り残されない学びの保障が重要であることを示し、その実現に向けた様々な取組が展開されはじめています。さらに同年10月には不登校いじめ緊急対策パッケージを策定し、校内教育支援センター設置促進や心の健康観察推進など「COCOLOプラン」の前倒しを報告しています。

学校は大きな転換期を迎えています。これまでも、多様な学びの場の創成と充実、保護者への支援、「チーム学校」による支援の拡充、教師の専門性の向上……と様々な角度から取組が行われてきました。こうした流れの中で、子ども達の学びの多様性への対応が重要な焦点となっています。

本シンポジウムでは、不登校や多様な教育的ニーズのある子ども達に対して、先進的あるいは萌芽的な取組を行っている実践者らに話題提供をしていただきます。そこから、これからの学校のあり方、そして学びの多様性への対応のあり方について共に考えます。



## 学びの多様性って何だろう？ ～不登校への新たな対応を考える～

### お申し込み方法

- 本シンポジウムは、学校教員、教育委員会関係者、教員養成系大学・学部関係者、学生等を対象とします。参加費は無料です。
- 参加をご希望の方は、**2024年2月21日(水)**までに申し込みをしてください。
- 申し込みは **Googleフォーム** にて受け付けます。  
下記URLへアクセスいただき、必要事項を入力してお申し込みください。

申し込みURL：

<https://forms.gle/i2zr44bUdHiuZYjc8>

申し込みQRコード：



- ご提供いただきました個人情報は、本シンポジウムの運営に関して必要がある場合のみ利用します。ご本人の同意を得ずに、個人情報を第三者に提供することはありません。

### アクセス

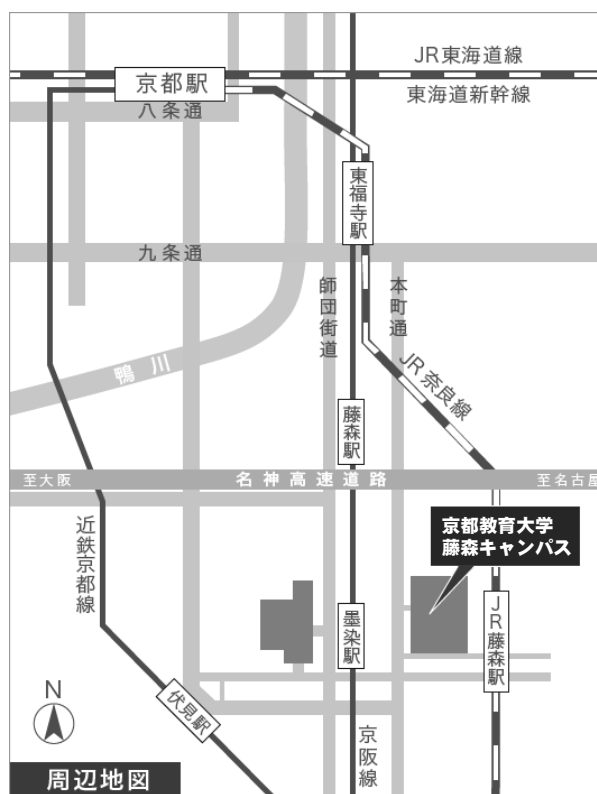
京都教育大学 藤森キャンパス  
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

- JR 奈良線 「JR 藤森駅」下車 徒歩3分
- 京阪本線「墨染駅」下車 徒歩7分

※公共交通機関をご利用いただき、  
お車でのご越しはご遠慮ください。

※対面での開催を予定していますが、  
今後の状況により、オンラインなど  
開催方法の変更の可能性があります。

その場合は、申込時にご提供いただいた  
メールアドレス宛へご案内いたします。



### お問い合わせ先

京都教育大学 学術研究支援課研究支援グループ

電話：075-644-8846（9:00～12:30、13:30～17:00）

※土・日・祝日・夏季休業・冬季休業を除きます

E-mail：kenshien@kyokyo-u.ac.jp